

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
電子カルテ I Electronic Health Record I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(電子カルテ検定対策講座)	ICDコーディング I・II履修者のみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医学一般の科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療秘書・ドクタズクラーク				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川貴子	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
我が国のIT化に伴い、全国の病院も電子カルテシステムの導入が必須になっている。それに対応できる即戦力としての人材育成が求められる中、従来の医療事務知識プラス現場状況を踏まえた電子カルテ演習を中心に学習する。				
授業の目標				
①診療録・電子カルテ・ICD-10分類・DPCが病院業務の中でどのように繋がっているのか理解できるようにする。 ②電子カルテシステムの操作方法と関連知識を習得し、事例問題の解決ができるようにする。 ③電子カルテ検定試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
毎回のテキスト・配布資料により、演習問題を中心に実践方式で授業を進める。				
学習の成果(学習成果)				
①診療録の重要性を説明ができる。 ②電子カルテ・DPC請求についての基礎知識を業務に利用することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・電子カルテの概要			
第2回目	電子カルテシステムとは(システムの全体像)			
第3回目	医事コンピュータと電子カルテの違い			
第4回目	医事コンピュータ①(内科)			
第5回目	医事コンピュータ②(整形外科)			
第6回目	医事コンピュータ③(外科)			
第7回目	医事コンピュータ④(小児科)			
第8回目	医事コンピュータ⑤(耳鼻咽喉)			
第9回目	医事コンピュータ 演習問題 ① 診療所・外来			
第10回目	医事コンピュータ 演習問題 ② 病院・入院			
第11回目	電子カルテ基本操作			
第12回目	IT化の流れと診療録の電子化への道(国策による法的要件とその後の動き)*レポート(提出日は授業内で指示)			

第13回目	電子カルテの定義および機能（メリット・型） 外来	演習問題③診療所・外来
第14回目	電子カルテシステム関連知識（部門システム・オーダーリングシステム）	演習問題④病院・外来
第15回目	電子カルテシステム関連知識（基本的機能・入力支援ツール）	演習問題⑤病院・外来
第16回目	電子カルテシステム関連知識（クリニカルパス・レセプト・セキュリティー）	演習問題⑥病院・入院
第17回目	電子カルテと医療機関におけるフロー 示)	演習問題⑦病院・入院 *レポート（提出日は授業内で指
第18回目	応用問題 I 外来（問題1～問題3）	
第19回目	応用問題 II 外来（問題4～問題7）	
第20回目	応用問題 III 外来（問題8～問題11） 指示)	*レポート（提出日は授業内で
第21回目	応用問題 IV 入院（問題1～問題3）	
第22回目	応用問題 V 入院（問題4～問題7）	
第23回目	応用問題 VI 入院（問題8～問題11）	
第24回目	電子カルテから文書作成への操作	
第25回目	文書作成（診断書・主治医意見書等）	
第26回目	文書作成（診療情報提供書・出生証明書等）	
第27回目	クリニカルパスとは	
第28回目	クリニカルパスの作成の必要性	
第29回目	クリニカルパスの作成（白内障）	
第30回目	まとめと一般的留意事項	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	出された課題に集中して取り組んでいる。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート	20%	宿題等で提出を求めた課題の内容と提出率で評価する。
調査報告書		
小テスト	20%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	30%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
メディカルドクターズクラークテキスト1～5 医師事務作業補助問題集 ハンドブック 電子カルテシステム		
履修上の留意点・ルール		
専門用語が多いため分からないところは必ず質問すること。課題は必ず提出すること。		